

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	組織・定員の適正な管理			事業番号	37-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	古宮 雄二	経営企画課	黒石 正幸	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	2	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	37	市民に信頼される市政の推進	
予算事業名	文書事務集中管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等	—			計画期間	—
関連個別計画	伊勢原市定員管理計画			計画期間	平成25年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	厳しい財政状況の下、社会経済状況の変化に伴う新たな行政課題や市民の多様なニーズに即応した施策を展開するとともに、最小の経費で最大の効果を上げるため、簡素で効率的な行政執行体制の構築及び適正な定員管理が求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)	効率的な市の組織・人員体制を整備し、様々な行政課題に対し、地域主権に基づく主体的な判断・執行により、地域の実情に合った質の高い行政成果を生み出し、市民に信頼される市政を実現する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市職員				
事業内容 (手段、手法など)	・伊勢原市定員管理計画(平成25年度から平成29年度まで)に基づき、適正な組織・定員管理に取り組みます。 ・新たな社会経済環境変化を踏まえ、次期定員管理計画(計画期間平成30年～)の策定を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	職員数の適正管理	定員管理	定員管理・次期計画の策定		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	職員数	677人	671人	663人	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	伊勢原市定員管理計画の取組の着実な進行管理を図り、中間年の見直しによる「年度別職員数削減取組目標(各年4月1日現在の職員数)」を達成するよう適正な職員配置等に引き続き取り組むとともに、平成30年度からの次期計画の策定に向けた情報収集や課題分析に計画的に取り組む。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	職員数の適正管理	継続実施		
実施した取組の内容	・「伊勢原市定員管理計画」に基づく適正な定員管理の実施及び組織改編に伴う定員見直しの実施			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	職員数	677人	665人	

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)	0	千円			0	千円		
	国県支出金 ①	0	千円			0	千円		
	地方債 ②	0	千円			0	千円		
	その他特財 ③	0	千円			0	千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円			0	千円		
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.19	人	1,644	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.19	人	1,644	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				1,644	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位				
		対象数	101,635	人					
		総事業費／対象数	16	円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	伊勢原市定員管理計画に基づく「年度別職員数削減取組目標(各年4月1日現在の職員数)」を達成するとともに、現定員管理計画に基づく職員定員目標数(総数)を維持することを前提に組織の見直しを実施した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都市事業内容等	総務省が実施した「地方公共団体定員管理調査」における全国類似団体の人口1万人当たりの職員数と本市の職員数を比較した結果、本市の職員数は、全国類似団体の平均数値を下回り、他市と比較しても高い水準で適正化が図られている状況が見られた。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	伊勢原市定員管理計画に基づき適正な定員管理を推進することで、多様化する行政課題や市民ニーズに対応することができる簡素で効率的な組織・人員体制を維持することができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	伊勢原市定員管理計画の進行管理においては、定員に関する状況調査等に一定の職員人件費が必要となる。特に平成28年度は組織改編に伴う定員管理計画の見直しを実施したが、組織体制の見直しと共に適正な定員の見直しを効率良く行い、体制の維持を図った。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<p>厳しい財政状況において、人件費を抑制した職員体制を構築する必要がある一方で、人口減少、少子高齢社会等の社会環境の変化による市民ニーズの多様化や制度の改正などにより、増大する行政事務に、効率的かつ適正に対応する職員体制づくりが求められる。</p>
次年度の取組方針		伊勢原市定員管理計画の取組の着実な進行管理を図り、「年度別職員数削減取組目標(各年4月1日現在の職員数)」を達成するよう適正な職員配置等に引き続き取り組むとともに、平成30年度からの次期計画の策定に向けて計画的に取り組む。		
所管部長による総評		限られた人員を有効かつ効率的に活用できるよう、各業務の見直しを図るとともに、効率的・効果的な行政運営を進める。また、平成30年度を始期とする次期計画について、総合計画後期基本計画などの他計画との整合を図りながら策定作業を進める。		